

2016 ひろしま避難者の会「アスチカ」会員情報のまとめとアンケート結果

2016.3.8

ひろしま避難者の会「アスチカ」

【ひろしま避難者の会「アスチカ」とは？】

避難者による避難者のための会です。

東日本大震災の地震や津波、東京電力福島第一原発事故の避難者がここ広島で生活の基盤や気持ちを整えたり、同じ思いの仲間を見つけたりしながら、避難生活を落ち着かせ、次のステップへ踏み出すことをサポートする当事者団体として設立しました。現在、アスチカには116世帯346名の避難者が登録しています。

※「アスチカ」＝「明日へすすむ力」

表1 広島県把握の避難者数

	人数	%
岩手	17	4.2
宮城	81	19.9
福島	229	56.3
関東地方	80	19.6
計	407	

2016年2月29日

※表1の人数は全国避難者情報システム(総務省)への本人からの登録により把握されている人数です。すべての避難・移住者が登録しているものではありません。広島県にも未登録の避難者が数多くいます。

表2 アスチカ会員世帯 避難元別

	世帯数(人数)	%
岩手県	3 (4)	2.6%
宮城県	10 (33)	8.6%
福島県	53 (156)	45.7%
関東地方	50 (153)	43.1%
計	116 (346)	

世帯数は昨年とあまり変わらないが、このうち7世帯がこの1年間の新規入会世帯。新たに避難を開始したというよりも、数年前から避難していたが、これまで他の避難者との繋がりを持たなかった方の入会が多かった。アスチカ設立当初、福島県からの避難者の割合は6割。現在は5割を切り、関東からの避難者の割合とさらに接近した。避難後5年経ち、避難先で得た仕事での転勤による転出者も増えてきた。

表3 アスチカ会員 世帯状況

	世帯数	%
単身	17	14.7%
大人のみ	12	10.3%
大人+子ども世帯	87	75.0%
(うち母子世帯)	27	23.3%

大人のための世帯に出産があり、大人+子ども世帯に移行するなど、大人+子ども世帯が増えた。小さな子どもを連れた母子避難が避難者の象徴的な存在だが、小さかった子ども達も5年経てば中学生、高校生になる子供も増えてきた。年齢層は0歳から80代まで幅広い。それぞれの世帯構成ごとにそれぞれの困難さを抱えている。

アスチカ会員アンケート結果 回収数 63世帯／116世帯(回収率 54.3%)

Q1 全国避難者登録システムに登録していますか？

	回答数	%
登録している	46	73.0
登録していない	17	27.0

登録していない理由(複数回答あり)

	回答数	%
システムを知らない	5	31.3
登録するメリットを感じない	4	25.0
登録する対象でないと思っている	6	37.5
申請が手間	1	6.3
その他	2	12.5

Q2 住民票は異動しましたか？

住民票の異動

	世帯数	%
異動した	54	85.7
異動していない	9	14.3

※「はい」に一部異動含む

異動した理由(複数回答あり)

	世帯数	%
移住だから	33	61.1
今、住んでいる場所だから	11	20.4
避難先へ納税	1	1.9
仕事の都合	4	7.4
子どもの保育園や学校の都合	9	16.7
その他	4	7.4

(その他・補足説明)

- ・避難当時は住民票を残しておく、子どもが差別されるかもしれないと考えたから。
- ・福祉制度を利用するため ・もう帰れないから

異動しない理由(複数回答あり)

	回答数	%
不都合がない	3	33.3
家族のつながり	4	44.4
避難元の子どもの医療費支援が充実	2	22.2
福島県県民健康調査などの健康管理の維持	2	22.2
避難元への愛着	1	11.1
復興住宅への入居意向のため	1	11.1
その他	3	33.3

(その他・補足説明)

- ・父親の意見により異動しなくてよいと言われている。進学の場合のためには異動したい。
- ・自分の家があるから。

住民票を異動する世帯の方が主流。住民票は異動しても、本籍地は動かさないという声もあった。

Q3 避難の理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震による家屋の消失・損壊	4	6.3
津波による家屋の消失・損壊	3	4.8
原発事故による強制避難	4	6.3
原発事故による健康影響(含、不安)	54	85.7
仕事がなくなった	0	0.0
精神的ストレス	26	41.3
余震への不安	15	23.8
原発事故悪化への不安	35	55.6
その他	11	17.5

広島には原発事故の影響で避難した人が多く、土地柄もあり、原発事故への関心も高く持っていてい

ている。
しかし、津波と地震の影響で広島に来ている人も確実におり、広島での定住を決めている方もいる。そういう方がいることも知っていただけとうれしい。

(その他・自由記入)

- ・津波後、粉じんがひどかった。
- ・自営業の地が汚染され、生活が成り立たなくなったため。
- ・避難元の出産予定の病院がだめだったため。
- ・次の地震への不安
- ・原発事故により土地や食べ物、水が放射性物質に汚染され、食べる物が自分の基準ではなくなってしまった。とてもひもじかった。

Q4 広島へ避難された理由は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
地震等自然災害が少ない	9	14.3
被災地から遠い	19	30.2
自然に恵まれている	5	7.9
被爆地であることへの期待	11	17.5
生活が便利	4	6.3
家族・親族がいる	26	41.3
友人・知人がいる	6	9.5
知っている避難者がいる	1	1.6
たまたま仕事が見つかった	11	17.5
以前住んだことがある	5	7.9
西の食材が手に入りやすい	21	33.3
一時避難・保養に来た縁	6	9.5
避難者への支援がある	5	7.9
その他	8	12.7

(その他・自由記入)

- ・気に入った土地に巡り会えたので。
- ・大きな都市のひとつであるから仕事を見つけやすいのでは？という期待から。
- ・中国、四国山脈に囲まれ、日本国内で最も放射能の影響が少ないという論文があったから。

避難の時期が早い会員は「家族・親族がいる」の選択が多め。避難時期が遅めの会員は時間をかけてしっかり仕事を確保してから避難を始めた方も少なくない。

原発事故での避難者は食材に高い関心がある傾向がある。

Q5 現在お住まいの住宅は？

【住宅支援を受けている方】

	回答数	%
県営住宅	4	6.4
市・町営住宅	5	7.9
雇用促進住宅	2	3.2
民間借り上げ住宅	6	9.5
その他	0	0.0

【住宅支援を受けていない方】

	回答数	%
県営住宅	0	0.0
市・町営住宅	0	0.0
雇用促進住宅	0	0.0
民間賃貸住宅	27	42.9
実家、親戚宅	5	7.9
持ち家	9	14.3
その他	5	7.9

(その他)・民間無料住宅・公団

災害救助法適用地からの避難者とそうでない地域からの避難者への住宅支援の差が大きいのが現状。福島県からの自主避難者は平成 29 年 3 月で住宅支援が終了することが発表され、その対象世帯は支援終了後の身の振り方がこれから 1 年大きな問題になると思われる。

応急仮設住宅が1年ごとに延長を検討、実施検討されていることについて

(回答:平成29年3月住宅支援終了非対象者)

	回答数	
1年ごとの延長でよい	1	(1年ごとでよい:理由・自由記入)
複数年で延長を決めてほしい	3	・すべてにおいてどうなるか分からないから
2年	0	(複数年で:理由・自由記入)
3年	0	・将来設計が立てられない
2~3年	1	・1年では期間が短くて、将来の予定を立てるのに不安。
5年	0	・引っ越し先を探したり、資金(引っ越し)の準備が必要なため。
(広島県において)支援延長の有無決定通知時期に問題ない	1	
(広島県において)支援延長の有無決定をもっと早期に	5	
その他	0	

(支援延長有無決定をもっと早期に:理由・自由記入)

- ・それによっては引っ越そうと考えている
- ・これからの生活設計を立てるのに必要。
- ・生活設計が立てづらいから。
- ・義務教育課程の子どもがいる家庭は、校区内で次の住宅を探したいと思う気持ちを考えていただきたい。希望物件はそう簡単に見つけられるものではない。

Q6 お住まいでのお悩みはありますか？(福島県の自主避難者への住宅支援終了に関して以外)

- ・せまい。(便利な場所なので引っ越しをいつにするか迷う。)
- ・部屋が狭い。子どもの成長に合わせ、もっと広いところに住みたいが、引っ越すと支援が切れる。
- ・土砂災害の心配がある地域なので心配。
- ・一度も住宅支援を受けたことがない。家賃の一部でも支援してほしかった。

- ・打ち切りになったら、家賃の不安がある。
- ・所得が激減したので、家賃負担が厳しい。この先家主都合等で転居を余儀なくされた場合、金銭的に・保証人不在で居住地を確保できなくなることもあるかもしれない不安を抱えている。

Q7 現在ある公的支援で改善を望む点がありますか？

- ・高速道路以外の交通費の補助があると助かる。
- ・だれを基準にした支援策なのかと思う。たまたま避難先が遠方になった者には支援が薄いと感じる。
- ・介護で福島に時々帰る交通費も支援の対象にしてほしい。
- ・住宅支援を続けてほしい。
- ・高速道路の乗り降り免除を指定 IC 以外にも認めてほしい。
- ・引っ越しで住宅支援が受けられなくなってしまった分をさかのぼって出してもらいたい。
- ・期待していない。
- ・福島だけが汚染されたのか？ 関東も汚染されているけど何もない。(支援対象の拡大を)

Q8 公的なもの、民間のものに関わらず、これから必要とする支援があればお書きください。

- ・空き家バンクの早期整備等、住宅支援
- ・移住支援
- ・避難元へ帰る時の交通費援助
- ・雇用支援、就活の支援(無料パソコン教室など)
- ・東電への賠償請求へ向けた支援。
- ・医療支援。健康診断(血液検査や甲状腺エコーなど)。避難元に関わらず何かあった時の医療費支援
- ・子どもの進路相談、塾・学習支援
- ・住んでる地域の公共交通の整備
- ・公的な建物で空いている物件を、所得を考慮して安価で貸してほしい。

Q9 生活費を支えているものは何ですか？(複数回答あり)

【家族で避難されている世帯】

【単身・母子等家族の一部で避難されている世帯】

(複数回答あり)

	回答数
世帯主の収入	35
配偶者の収入	17
預貯金	13
年金	3
賠償金	1
精神的慰謝料	1
生活保護	0
失業給付	0
その他	3

(複数回答あり)

	回答数
ご本人の収入	11
家族からの仕送り	9
預貯金	4
年金	4
賠償金	1
精神的慰謝料	0
生活保護	0
失業給付	0
その他	0

(その他)・保険の解約・全員の収入

Q10 生活費・収入は十分ですか？

	回答数	%
十分	7	11.1
まあ満足	21	33.3
苦しい	25	39.7
無回答	10	15.9

無回答者が増えた。「苦しい」の回答は少し減ったが、自由記入をみると「まあ満足」も十分よりは「苦しい」に近い印象がある。
子どもの成長につれて上がる教育費の負担の重さに言及しているものが目立った。

Q11 生活費・収入に関して、ご自由に

- ・自営業のほか、アルバイトしながらなんとか生活している。
- ・夫は契約社員、妻はパートでボーナスもなく、夫婦とも健康を害し、これ以上無理に働く自信がない。子どもの教育に今後お金がかかるので苦しい。
- ・避難しての転職で年収が減少、教育費が大幅に増大する時期にもなり、住宅支援がなくなるのは本当に厳しい。預貯金を切り崩しての生活となる。避難する前から予想していたこととはいえ、やはり、あの事故さえなければ、生活が一変することはなかった…と憤りが繰り返し湧き上がる。ただ、今まで住宅支援を受けられていただけ恵まれていたとも思う。
- ・物価が高い。
- ・今後、二重生活になる予定。経済面を考えると、不安はあるが、帰るしかないのかと悩んでいる。
- ・収入は多少減少しても、東京と比べて生活費が少なくて済む。
- ・非正規の仕事では食べられない。
- ・主人は転職による収入減、妻は退職せざるを得なかったので大幅な収入減。
- ・制限労働、同一価値労働同一賃金とは無縁な状態で働いている。とりあえず食べていけるが、いつ失職するか分からないという不安を常に抱えもって生活しているのが苦痛。
- ・二重生活で生活費がかかる
- ・病気になり、医療費がかかる。
- ・家賃を払っていけるような収入の高い仕事が避難してから見つからない。

Q12 お仕事面での悩みはありますか？

- ・仕事に出たいが、子どもの急な病気、幼稚園の不定期の休園、行事参加のため、時短の仕事もやりにくい。
- ・もう一つお仕事を増やそうかな？と悩み中。
- ・休みがない。子どもの学校行事へも行ったことがない。勤めていたころは行けたのに…と悲しくなる。せっかく避難してきたのに、子どものためだったのに、残念。
- ・アルバイトで収入が少ないので増やしたいが、子どもを考えるとなかなか踏み込めないでいる。
- ・十分な収入の仕事に就けない。
- ・妻の希望する仕事がなかなか見つからない。

Q13 今後のご予定は決まっていますか？

	回答数	%
今住んでいる自治体へ定住	19	30.1
避難元ではないところへ移動	3	4.8
近いうちに避難元へ戻る	1	1.6
いずれ避難元へ戻る	3	4.8
決めていない	28	44.4
上記に当てはまらない	6	9.5
無回答	3	4.8

「決めていない」が最多。「決めていない」というよりも「決められない」という方が合っている。避難元でないところへ移動することを決め、近いうちに実行にする人も数名。住宅支援が終了することが見え始めるなど、震災から5年経ち、定住先をみんなが模索している印象。

(今住んでいる自治体に定住する)

- ・こっちで就職したから。
- ・子どもが成長するまではいたい。
- ・家を建てたので。
- ・これ以上の被曝を避けるため。
- ・放射能により病気になるのではないかと心配しながら生きたくないから。
- ・もう住む家もないため。自宅は売却した。
- ・この街が好きだから。
- ・ここで事業を始めたから。

(避難元でないところへ移動する)

- ・安住のため。定まらないことが不安材料になっていた。
- ・中古の物件を購入したので

(近いうちに戻る)

- ・家族はみんなそっちにいるから。残れるものなら残りたいが、難しく悩んでいる。

(いずれ避難元に帰る)

- ・避難元の両親の高齢により。(3～5年後)
- ・避難元がいいから。

(決めていない)

- ・避難元には戻りたいけど、放射能が怖くて戻れない
- ・広島周辺原発が爆発したら、またどこかへ行くかも。
- ・「決めていない」ではなくて、「決められない」。こちらに定住したいが、避難元に祖母と母を残しているので、今後どうなるか…。
- ・(定住には) 経済力と夫の理解が必要。(今はそれらが無い)
- ・この先の仕事や母の具合が流動的だから。
- ・現在どうしたらよいか迷っている。決断ができないのです。あらゆる選択肢を考えている。
- ・その時の状況に応じてベストの土地に住む。
- ・定住したいと思っている…と言うより避難元には帰れないという気持ちの方が強い。こちらでいずれ家も買いたいと思っている。けど、100%定住するとは言い切れない心の葛藤がある。

- ・避難先の土地でうまくやっけていけるかまだ分からない。
- ・自分たちで農業を再開できる土地を探している。

(上記に当てはまらない)

- ・家族に転勤があるかもしれないので不明。
- ・定住できればしたい気持ち強いが、仕事面で条件が良い物件があれば移住したい気持ちもある。
- ・定住先は決めない予定
- ・子どもの教育と、私の仕事（自営）の方向性次第で再び引っ越しも。
- ・子どもが大学生になり、家を出たら、主人の勤務地へ戻る予定です。まだまだ先の予定だが…。

Q14 今、大変なこと、つらいことは何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%	
仕事が見つからない	5	7.9	
仕事にやりがいを感じない	2	3.2	*
生活費が足りない	21	33.3	
支援が縮小していくこと	11	17.5	*
避難指示が解除されたこと	0	0.0	*
避難指示が解除されそうなこと	2	3.2	*
体調不良	13	20.6	
忙しすぎる・自分の時間がないこと	12	19.0	*
親の介護	5	7.9	
育児	8	12.7	
子どもの教育・進路	18	28.6	
家族バラバラに暮らしていること	12	19.0	
避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと	29	46.0	
心の余裕のなさ・精神的な不安定さ	17	27.0	
家族間の意見の不一致(夫婦間、パートナーと自分)	7	11.1	*
家族間の意見の不一致(自分と親)	7	11.1	*
家族間の意見の不一致(自分と子ども)	0	0.0	*
避難元が復興しないこと	1	1.6	
避難元の復興が望む形と違うこと	5	7.9	*
避難元に帰れないこと	9	14.3	
今住む地域に親しい友人がいないこと	11	17.5	
避難元の友人と疎遠になってしまったこと	16	25.4	
震災や原発事故のことが世間から忘れられているように感じること	16	25.4	
原発が再稼働されたこと	31	49.2	*
避難先の人たちと意識の差を感じる	12	19.0	
特になし	1	1.6	
その他	6	9.5	

(その他・自由記入)

- ・こちらに来ているので、母の病気に向き合えなかった。最期の時に間に合わなかった。祖母は叔母に預けるしかなく、今もまた、祖母の病気に向き合えていない。
- ・この西の地区でも、食事からの内部被ばくの危険から子ども達をどう守るか…。利益優先の企業のやり方に嫌悪。自分の周りの方々に話をしても関心は薄い。自分の力不足にも自己嫌悪。
- ・自分の病。入院など悪化した時に親類との距離があり、万が一の時を考えるとさらに不安がある。
- ・収入が少ないことで避難先の友人との付き合いが出来なかったり、病院にも十分に行けない。
- ・原発事故はまだ進行中なのに、忘れ去られる風潮を危惧している。
- ・定年まで頑張っていたと決めていた仕事を辞め、定年後に描いていた生活が全く実現不可能になり、生活することに喜びを感じない日々はいまだに続いている。何とか自分で自分に向かって「がんばれ！」って励ましてどうにか生きている。
- ・言葉の違いによるいじめ。子どもの心が心配。
- ・生活支援が自主避難者にはないこと。

*は新しい項目。「原発が再稼働されたこと」が 1 位。声高に原発反対を言わなくても、つらいと感じている避難者は多いということがわかる。「避難元の親・親戚・友人になかなか会えないこと」は依然多く、「生活費が足りない」「子どもの教育・進路」を選ぶ人が増加している。

Q15 今後、どんなことに不安がありますか？

(複数回答あり)

	回答数	%
避難先の生活が安定するか	21	33.3
自分の健康が保てるか	33	52.4
家族の健康が保てるか	31	49.2
避難し続けられるか	11	17.5
公的支援がいつまで続くか	10	15.9
避難指示が解除されること	0	0.0
子どもをしっかり育てられるか	13	20.6
子どもの教育・進路	21	33.3
家族と一緒に暮らせるか	7	11.1
夫婦の関係が悪化しないか	8	12.7
避難元の親・親族との関係、付き合い	16	25.4
避難元へ帰れるか	3	4.8
避難元へ帰らなければいけないこと	6	9.5
避難元へ帰った時に孤立しないか	6	9.5
避難元にいる親の老後・介護	22	34.9
特にない	2	3.2
その他	2	3.2

*は新しい項目。
健康への不安は多い。「子どもの教育・進路」は昨年より増加。「親の老後・介護」も数値は高い。発災・避難開始時から時間が経つにつれ、各家庭で問題として大きくなってきていると思われる。
新しい項目の「避難元の親・親族との関係・付き合い」にも悩む様子もわかる。特に原発事故での避難者とその親族と考え方の違いがある場合は大きな悩みになっている。

(その他・自由記入)

- ・住んでいる建物の解体の話が出ている。できれば今の地域に住んでいたい。
- ・二重生活に加え、子どもが自宅外で大学進学した時のことを考えると、避難などと言っていられなくなるかもしれない。
- ・去年、父が亡くなり、避難元に母が一人暮らしになった。今はまだ元気だが、今後の不安。
- ・“今” 大変なこと、つらいことが今後も継続していくこと。
- ・友人やその子供たちの健康
- ・自分たちの年金
- ・医療費の高騰。
- ・原発再稼働。
- ・地震

Q16 震災から間もなく5年の時期になって、変化してきたことは何ですか？良いことでも悪いことでも気づきがあれば教えてください。

(複数回答あり)

	回答数	%
気持ちが穏やかになってきた	12	19.0
あきらめのような気持ちが強くなった	19	30.2
生活が安定してきた	14	22.2
楽しいことをしようという気持ちになってきた	19	30.2
無気力になってきた	0	0.0
前向きな気持ちになってきた	17	27.0
将来への不安が強くなった	8	12.7
広島に定住する気持ちが固まった	9	14.3
避難元へ帰りたい気持ちが強くなった	2	3.2
怒りが強くなった	4	6.3
変化はない	6	9.5
その他	10	15.9

「楽しいことをしようという気持ちになってきた」と「あきらめのような気持ちが強くなった」が同数。心配事を抱えている一方で、そればかりではいられない開き直りのような気持ちや世の中の流れに対する無力感といった気持ちにつながっているのだろうかと感じる。

(その他)

- ・疲れたなあ…と思う時がある。
- ・そんなに5年経ったからと言って変化してきたことはない。震災中も5年経った今も毎日がいっぱい楽しい生活なので楽しいことしたいなあーと思っても先立つものがないし、フットワークが軽かったのに重くなった。
- ・福島に居たことを考えるとつらくなる。これは変わっていない。でも、楽しいことをして、元気に過ごすことが大事だと思うようになった。
- ・無理やりにでも仕事に打ち込もうと思っている。何とか二人で子供を育て上げなければならない。
- ・原発再稼働の動きが怖い。あれだけの事故が起こったのに反省されていないので悲しい。
- ・日々変化している。うれしいことがあったり、落ち込んだりと。それはここに慣れてきたからかなあ〜と思う。

- ・以前に比べ、子どもの情緒は安定したと感じる。緊急地震速報の音を忘れた感じもある。
- ・5年経っても何も変わらないばかりか、世の中がどんどん悪い方向へ向かっているような気がする。
- ・放射能防御の気持ちが保てなくなり、周囲に流されている自分に不安を感じる。これからが大事なのに。
- ・放射性物質に対する恐怖心が少しは「自分は大丈夫ではないか？」と思えるようになってきた。

Q17 自分を「避難者である」と言うことに抵抗はありますか？

	回答数	%
とても抵抗がある	5	7.9
少し抵抗がある	27	42.9
あまり抵抗はない	13	20.6
全く抵抗はない	13	20.6
その他	1	1.6
無回答	4	6.4

はじめての質問。周囲の理解度に応じて、抵抗感に違いがあるようである。
避難することへの理解が進むことを望む。

(とても抵抗がある：理由・自由記入)

- ・被害者面していると言われる（思われる）のがとても嫌だ。しかし、自己紹介の時などには「どうして広島にきてるの？」と聞かれると「避難してきて」と言わざるを得ず、その後に「福島もう大丈夫でしょう」とか「早く帰れるといいね」とかと言われるので、私自身の気持ちは広島にずっといたいと思っているので、こちらも返事に困ってしまう。
- ・差別を感じる。
- ・福島ではなく、関東からの避難であるということで、「避難者である」と言って良いのか常に肩身が狭いような気がする。

(少し抵抗がある：理由・自由記入)

- ・義援金をもらったから。支援を受けているから。
- ・いろいろな人がいるので、「避難者」と言う時は人を選ぶ。
- ・人とは違うような気がする。かわいそうとみられるのもイヤだし、優遇されてんだ、なんて思われてるのかと思うのもイヤ。
- ・気持ちは移住者だから
- ・意識の差を感じるから。
- ・正直、抵抗はある。みんな知らないから。はじめは転勤で広島に…と言ったが、何人かに言ってから嘘をつくのが嫌になってあえて原発移住と言うようにした。反応は様々だが、自分の選んだ人生に自信を持ちたかったので。
- ・神経質などと思われてしまう。
- ・自主避難者は生活にゆとりがあると周囲から見られていること。
- ・原発災害は福島県人のみに降りかかったものではないのに、関東の避難には理解が容易にされていないから。

(あまり抵抗はない：理由・自由記入)

- ・原発事故が忘れられないようにしていくのがここに来た私の務めだと思うので、出来るだけ発信したい。
- ・原発の危険性を理解してもらいたい思いと、同じ思いの人と出会えるから。

(全く抵抗はない)

- ・理解者が周りに多いから
- ・事実なので。
- ・風化させず、少しでも多くの人に現状を伝えていく必要があると思うし、その上で、避難者であることも伝えることは必須であると思う。
- ・国は認めていないが、調べた限り、関東広域にも放射性物質は降下している。その関東から自主避難した少ない避難者であることに間違いはない。

Q18 今、楽しいこと、楽しみにしていることはありますか？

	回答数	%
はい	43	68.2
いいえ	10	15.9
無回答	10	15.9

(楽しいこと・楽しみにしていること 例)

こちらでできた友人たちと出掛けること／一人の時間／子どもの成長・進学／ペットの飼育／カープの応援／今やっている研究／子どもと過ごす時間／畑／日々の暮らし／イベント参加／広島での学校生活を楽しむ子どもの生活を支える事／趣味／自営業を通してのお客様との出会い／子どもと一緒にアクティブに遊ぶ機会を作っていること／仕事にやりがいを感じる／定年を待ち、関東へ移住する事／時々会える主人と家族4人の時間／自分の新しい分野へのチャレンジ／山の自然・満点の星・ほたるの乱舞・梅の収穫・日本ミツバチの飼育／同じ避難者さんとの交流／広島の方々との交流／いろんなところに出かけて楽しみを見つけている／広島の柑橘がおいしい／半自給生活／街づくりの仕事／保養の取り組み／これからの自分たちの住む場所を見つけ、新たな生活をする事。

Q19 これまで、アスチカの交流カフェに参加したことはありますか？

	回答数	%
参加したことある	48	76.2
参加したことがない	15	23.8

→①～③

→④

① また参加したいと思いますか？(48人)

	回答数	%
はい	40	83.3
いいえ	7	14.6
無回答	1	2.1

(②その他)

- ・子ども同士が遊ぶ機会になる。
- ・友人を作りたい。

② その理由は何ですか？(40人)

(複数回答あり)

	回答数	%
情報交換	28	70.0
他の避難者との交流	26	65.0
託児がある	5	10.8
外出の機会	2	5.0
リフレッシュ	12	30.0
その他	4	10.0

③もう参加したくない理由(7人)

(複数回答あり)

	回答数	%
楽しくなかった	0	0.0
今は必要を感じない	4	57.1
求めているものと違った	0	0.0
その他	5	71.4

(その他)

- ・都合が合わない。
- ・自主避難者の集まりとなっているため、思いが違うように感じる。
- ・参加なさった方と意識の差が大きすぎた。

④ 今まで参加したことがない理由(15人)

(複数回答あり)

	回答数	%
避難元・状況が違う人との交流は不安	3	20.0
日程が合わない	6	40.0
余裕がない	5	33.3
会場が遠い	2	13.3
交通手段がない	1	6.7
特に行く必要がない	1	6.7
家族で過ごす時間を優先	4	26.7
震災のことを思い出したくない	5	33.3
自分のことを話したくない	1	6.7
その他	2	13.3

Q20 今後どのような情報の充実を望みますか？

(複数回答あり)

	人数	%
定住のための情報	21	33.3
住宅	14	
雇用	14	
教育	10	
その他	2	
避難元の情報	8	12.7
復興状況	6	
住居	2	
雇用	1	
教育	0	
その他	0	
原発事故にかかわる訴訟の情報	18	28.6
住んでいる地域の情報	20	31.7
その他	8	12.7

Q21 アスチカに求めているもの、会員でいることの原因は何ですか？

(複数回答あり)

	回答数	%
他の避難者と知り合うため	15	23.8
避難者同士のつながり(交流会などには出ずとも)	32	50.8
アスチカニュースなどが届くこと	32	50.8
ご招待、支援物資などの情報獲得	20	31.7
公的支援の情報獲得	23	36.5
さまざまな催しの情報獲得	21	33.3
避難者であることの自己確認(「自分＝避難者」であることを確かにする)	10	15.9
困った時の相談場所として	31	49.2
精神的支え	15	23.8
避難者同士の情報交換のため	23	36.5
その他	6	9.5

(その他・自由記入)

- ・心の拠り所
- ・つながりはうれしいから。
- ・アスチカ交流会には今は行くことが出来ないが、アスチカが無くなったとしたら、それはそれで不安になるだろうと感じる(寂しい)。遠くにあっても、元気で頑張っている様子が感じられることが安心につながっているように感じる。
- ・自分の中で色々なことを忘れないために。

避難元別アンケート

【岩手県・宮城県】 (6名)

Q22 避難者であることで嫌な思いをしましたか？

	回答数	%
はい	2	33.3
いいえ	2	33.3
無回答	2	33.3

【福島県から避難している方】 (29名)

Q23 福島県から来ていることで、これまでに「放射能」に関わることで嫌がらせやいじめを受けたことはありますか？

	回答数	%
はい	0	0
いいえ	22	75.9
無回答	7	24.1

(自由記入)

- ・いじめではないけれど、密かに噂されていることがわかった時は不快だった。
- ・いわきナンバーだったので、車の洗浄はきちんとしているのか等は何度か聞かれた。

【関東圏から避難している方】（28世帯）

Q24 避難者であると周りの方に伝えていますか？

	回答数	%
常に伝えている	6	21.4
一部の人にだけ伝えている	12	42.9
以前は伝えていたが、今は伝えていない	6	21.4
以前は伝えていなかったが、今は伝えている	0	0
以前も今も伝えていない	1	3.6
その他	1	3.6
無回答	2	7.1

（その他）

- ・当初伝えていた→途中で伝えるのをやめた→今は出来るだけ伝えている

Q25 避難者であると伝えたことで嫌な思いをされましたか？

	回答数数	%
はい	9	32.1
いいえ	14	50.0
その他	1	3.6
無回答	4	14.3

（自由記入）

- ・どうしても、難しい人間なのかな？という目で見られる。
- ・相手に「そういうことは聞いたことはない」と言われた。「神経質ね」と言われた。
- ・話された人はどう返事をしていいか分からず戸惑っている。返事はなくていいので、ただ単に「そういうことがあったんだ」と聞いてくれるとありがたいけど難しいかも。それで、話すことをひかえてしまう。

Q26 今、望むことは何ですか？

（複数回答あり）

	回答数	%
関東圏からの避難への理解	19	67.9
支援範囲の拡大	9	32.1
住宅確保サポート	6	21.4
就職サポート	5	17.9
関東圏から避難している人との交流	11	39.3
その他	2	7.14